

## 令和3年度下水道事業会計 予算の概要（別紙）

注1) この資料は「令和3年度下水道事業会計 予算の概要」の主な項目の説明資料となります。

注2) この資料中の金額は、百万円未満を切り捨てております。

注3) 資本的収入及び支出については、支出・収入の順でご説明しております。

令和3年度の予算につきましては、別途ご報告の「札幌市下水道事業中期経営プラン2025」でお示ししています、令和3年度の計画値のとおりで、特に、老朽化が進む施設の改築や維持管理による延命化のための事業を強化することとして予算編成を行っております。

### 1 予算総括表について（1頁）

#### (1) 収益的収入及び支出

「収益的収入」は、①の 504億9,500万円となり、前年度と比べ17億9,500万円減少しております。

このうち、主たる収入である下水道使用料は、前年度と比べ11億7,300万円減少し、営業収益のそのほかについても、建設局からの受託工事の終了による受託工事収益の減少などにより、4億6,100万円減少しております。

「収益的支出」は、②の 489億3,800万円となり、前年度と比べ14億2,100万円減少しております。

このうち、営業費用は、10億4,000万円減少しております。この減少は、物件費のうち委託料は増加するものの、動力費等の減少により3億3,000万円減少したこと、また固定資産の減価償却が進んだことにより、減価償却費等が6億4,500万円減少したことなどによるものです。

営業外費用は、3億8,000万円減少しております。これは主に支払利息の減少によるものです。

この結果、収入支出差引は、③の 15億5,700万円の残額が生じることとなり、これから消費税を除いた純利益は、3億2,400万円となります。

#### (2) 資本的収入及び支出

「資本的支出」は、④の 398億4,900万円となり、前年度と比べ45億1,400万円減少しておりますが、令和2年度予算の建設改良費には令和元年度からの

繰越 16 億 600 万円及び国の補正に伴う令和 3 年 1 定補正分 31 億 6,700 万円の追加が含まれており、この繰越及び補正額を除いた当初予算比では 2 億 6,000 万円増加しております。

「資本的収入」は、⑤の 217 億 3,000 万円となり、前年度と比べ 52 億 1,600 万円減少しておりますが、令和 2 年度予算には支出と同様、企業債と国庫交付金には令和元年度からの繰越計 14 億 700 万円及び令和 3 年 1 定補正分計 31 億 6,700 万円が、また負担金にも繰越 1 億 5,300 万円が含まれており、これら繰越及び補正額を除いた当初予算比では、4 億 8,800 万円減少しております。

この結果、収入支出差引は、⑥の 181 億 1,900 万円の不足が生じますが、この不足額を当年度分・過年度分の留保資金等で補填した結果、令和 3 年度末の資金残は、⑦の 43 億 6,700 万円となり、繰越及び補正額を除いた当初予算比では、23 億 2,400 万円減少する見込みです。

## 2 収支状況について（2 頁）

「1 予算総括表」の主な項目について、円グラフで表しております。資本的収支の不足額については、収益的収支差引残額、減価償却費等で補填します。補填した結果、事業運営に必要な資金は確保できる見込みです。

## 3 5 年間の傾向について（3 頁）

5 年間の収益的収支及び資本的収支をグラフにしております。傾向としては、収益的収入の下水道使用料は横ばい、収益的支出の維持管理費は増加傾向、資本的収入の企業債は増加傾向、資本的支出の建設改良費は増加傾向となっております。

なお、資本的収入及び支出の令和 2 年度予算には、前段 1（2）資本的収入及び支出にてご説明したとおり、令和元年度からの繰越及び令和 3 年 1 定補正分が含まれております。

## 4 業務量について（4 頁）

管路総延長は、8,311.6 kmであり、前年度と比べ 2.7 km増加しております。また、総人口普及率は 99.8%となっております。料金収入の対象となる年間有収水量は減少を見込んでおります。

## 5 主要事業について（5・6頁）

「施設の維持管理に関する業務」は、総費用 208 億 5,800 万円となり、

「施設の建設に関する事業」は、総事業費 221 億 7,500 万円となります。

主な事業内容のうち、「下水道施設の再構築」は、前年度と比べて、事業費が増加し、総事業費のおよそ9割を占める194億6,300万円となっております。

6頁には参考資料として、主要事業のイメージ図を添付しております。

左側の下水道施設の再構築についての写真は、80年ほど経過した老朽管の改築前後の管内の様子です。老朽化したコンクリート管の中に樹脂製の管を構築する管更生工法を採用した例です。

右側の図は、雨水拡充管のイメージ、整備箇所図、浸水被害状況の写真です。雨水拡充管は、今年度平岸地区で整備を予定しています。